

人生会議（ACP）に関する普及啓発講演会 参加者アンケート結果

○開催日：令和8年1月24日（土）13時30分～15時40分

○場 所：北九州国際会議場 メインホール

○内 容：テーマ『人生いろいろ～人生会議って何？～』

特別講演：映画監督 信友 直子

基調講演：医療法人ゆうの森 理事長 永井 康德

シンポジウム：

映画監督 信友 直子

医療法人ゆうの森理事長 永井 康德

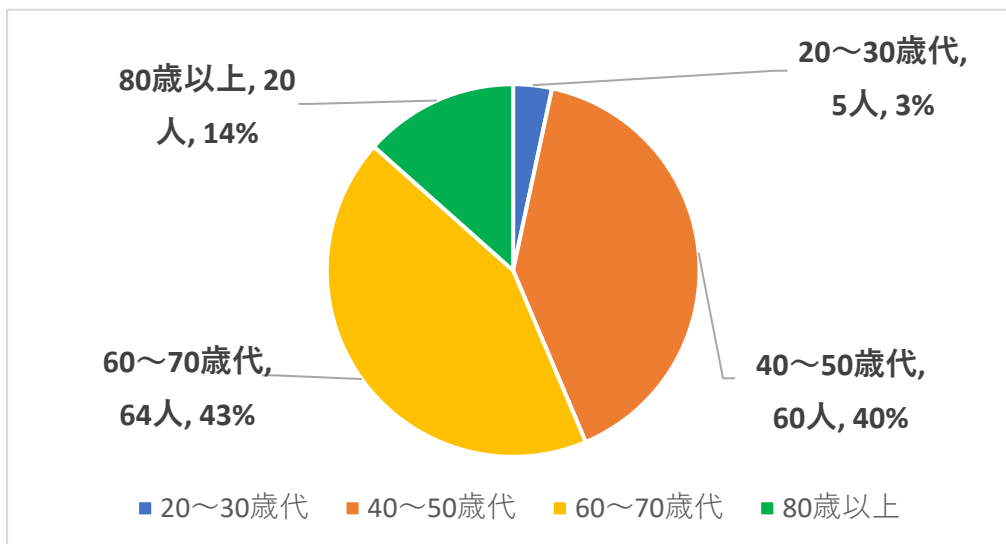
合同会社100FUKU代表 勅使河原 航（社会福祉士）

新庄整形外科医院居宅介護支援事業所管理者 北岡 大輝（ケアマネジャー）

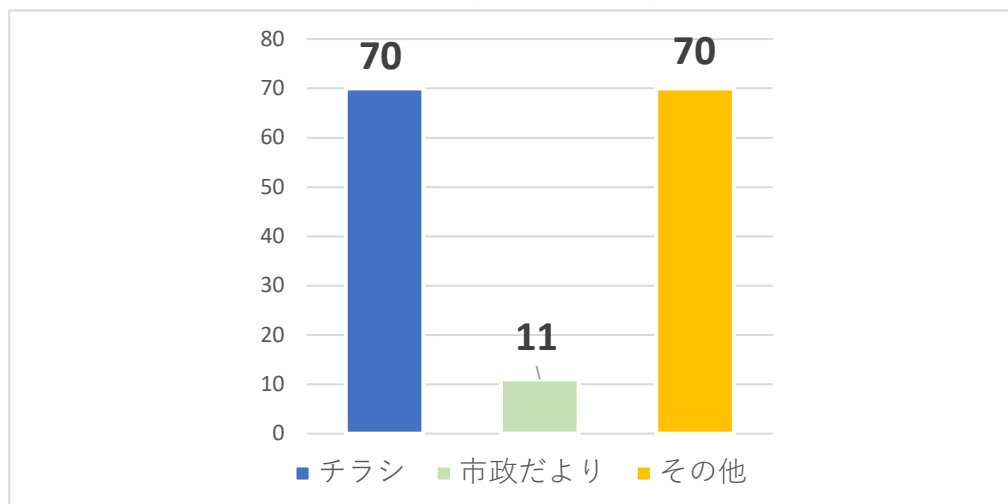
○参加者：272名（一般…126名、医療・介護・福祉従事者等…146名）

○回答者数：149名（回答率：54.8%）

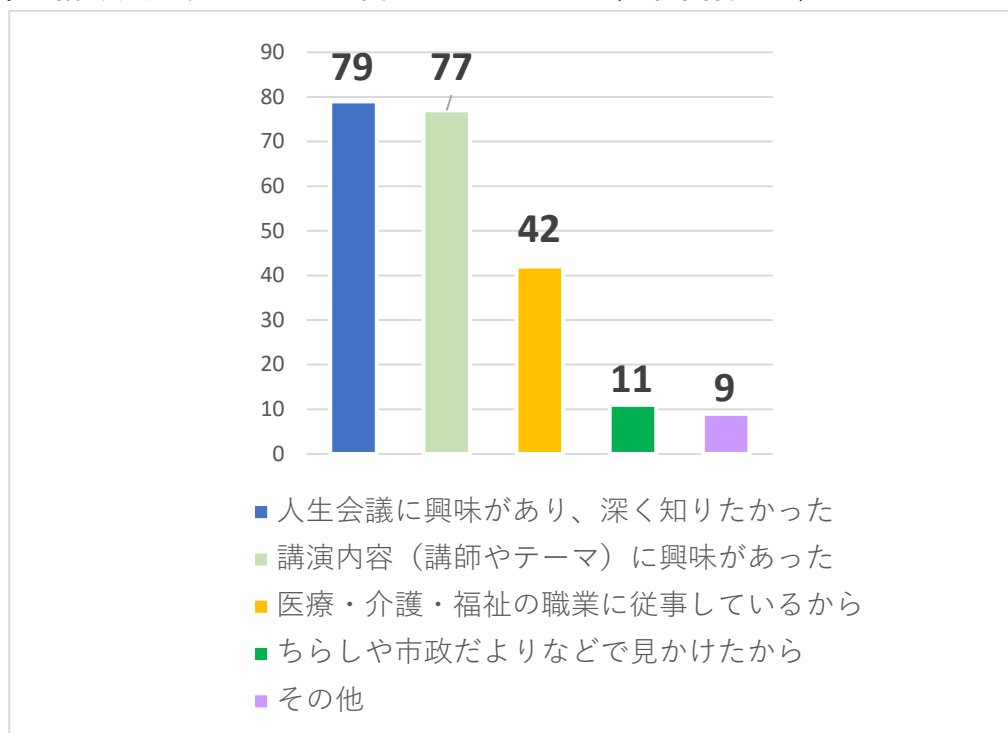
問1. 年齢



問2. 当講演会を知ったきっかけは？（重複回答あり）



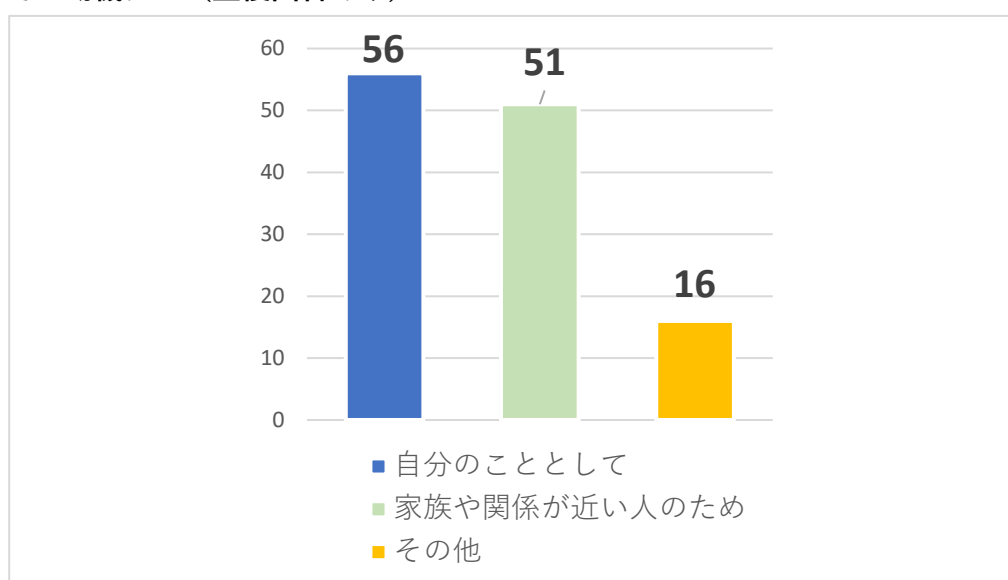
問3. 当講演会に参加された理由はなんですか？（重複回答あり）



* 「その他」の内容

- ・永井先生の本を購入したことがあり、先生の話一度聞いてみたいと思って
- ・信友監督の映画をみてから
- ・信友さんのお父様のことが気になっていたの
- ・市民センターで認知症支援活動委員会で活動しているから
- ・館長会議でお知らせがあった
- ・妻に誘われて

問4. 問3で「人生会議に興味があり、深く知りたかった」と答えた方に。
その動機は？（重複回答あり）



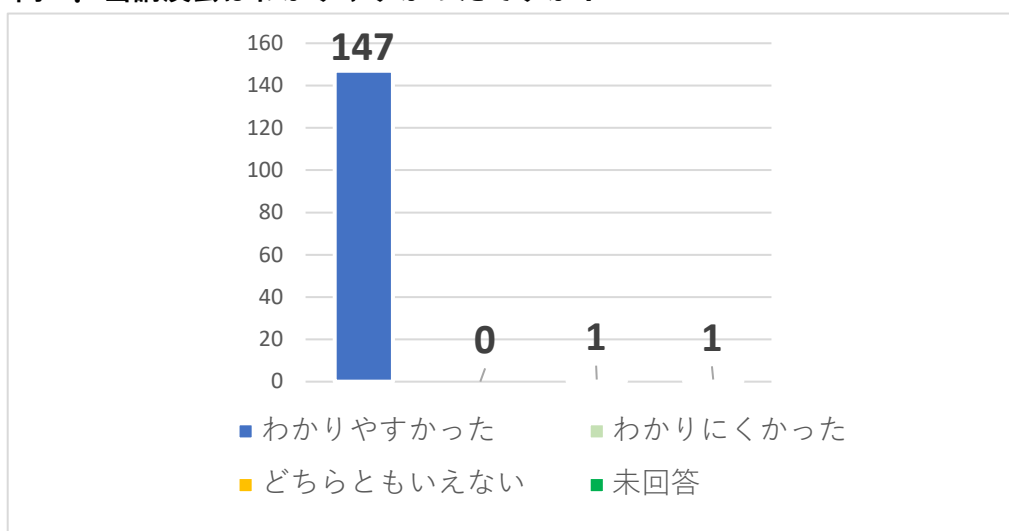
* 「その他」の内容

- ・民生委員活動の中で参考になるのではと
- ・自分や家族、市民全体のため

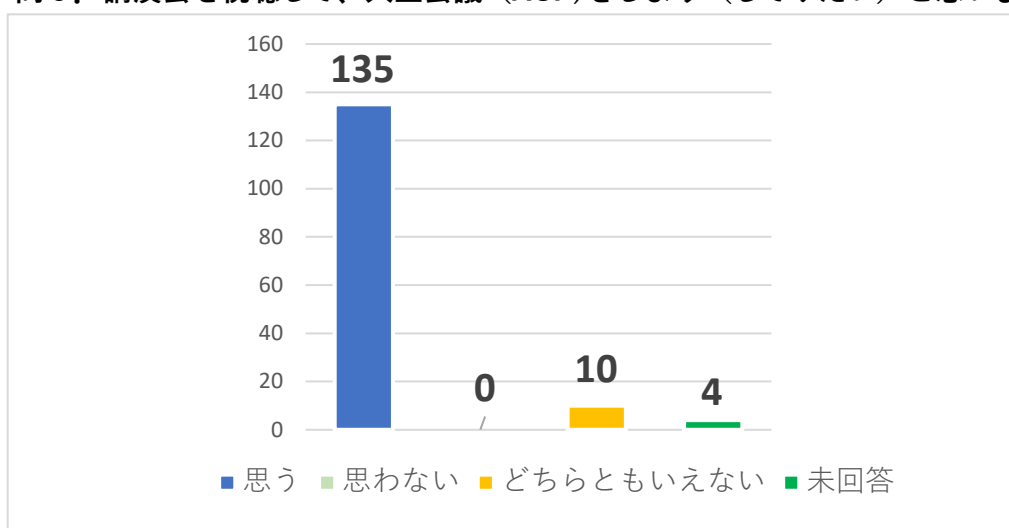
＊「その他」の内容（続き）

- ・地域活動に生かしたい
- ・支援を行うための学びとして
- ・仕事の内容と直結しているため
- ・職場で看取りケアをしているため
- ・職場で活用したい
- ・訪問看護師として役立てたい
- ・訪問看護で実践しているが言葉かけのタイミングなどを再考したいと思って
- ・ケアマネジャーとして
- ・職場で活用したいから
- ・利用者様と今後について一緒に考える時に必要なスキルの向上が必要と考えて
- ・信友直子さん、永井さんにお会いしたいと思って
- ・民生委員を3年ほどしていて、その時人生会議を知ったから
実際に何名か担当の方々と人生会議をして、もっと深く知りたかったから
- ・知らない人に伝えること、理解してもらう難しさ

問5. 当講演会はわかりやすかったですか？



問6. 講演会を視聴して、人生会議（ACP）をしよう（してみたい）と思いましたか？



**問7. 講演会の感想や、在宅医療・介護に関連して今後聞いてみたいテーマなど
ご要望。（すべて原文のまま）**

・永井先生のように患者に寄り添った治療なり、ケアが出来たら在宅が最高。
・家族と会話すること、決定しなくていい人生会議、いろいろな内容。
・とても心に思う強さを感じました。できれば地域でも活用する重要さを感じました。活かしたい内容でした。
・もう一度、近くのどこかで人生会議や認知症にならないための予防対策の講義、講演があれば聞いてみたい。
・大変勉強になりました。ありがとうございます。
・認知症の方との接し方、どこまで自由に外出させられるか。
・動画などがありとても理解しやすかった。自分の両親のことですが、ケアマネジャーを探す手段として自分自身は職場で相談することが出来ましたが、医療従事者ではない兄弟たちだけでは不安しかなかったということでした。高齢化社会でもあり、もっと身近に個人に対応したサービスが分かりやすく探すことができればいいなと思います。
・人生について考える、立ち止まる、機会をいただきました。良い講演会でした。
・今日聞きに来てよかったと思いました。主人と二人で子どもは東京にいるので私がしっかりしていないといけないなと思いました。
・新しい情報がたくさん知ることができ、ぜひ身の回りの人は家族に広げていきたい。
・地域で取り組んでいくには急性期病院の役割も大きいのかなと思っています。救急病院（急性期）から繋いでいくという形も必要なのかなと思っています。急性期病院との連携についてのテーマも聞いてみたいです。
・市民センターでも講和をしてほしいです。
・不登校について是非お願いします（びーんずネット）。本日は動画も交えながら分かりやすかったです！来てよかったです！
・この講演で人生会議ということを初めて知りました。いただいた資料で勉強したいと思います。
・義父を在宅で看取りましたが、亡くなる瞬間を看取れず後悔がありましたが、今日気持ちが楽になりました。在宅での看取りが当たり前の社会になっていてもらいたいです。
・これからは在宅医療がメインとなりますので一般の方々が在宅医療のことをわかりやすくお聞きしたり、話ができる場があればありがたいです。
・最期を自宅ですごせる体制をしっかりと作ってほしい（北九州市的に）
・両親が認知症のため親の人生会議をしたいなと思いました。
・もう少しシンポジウムでの話が聞きたかった。意思決定支援について学びたいです。
・本日のお話を聞きながら、自分の両親のことを考えていました。両親の考えや思いを知るために人生会議を行ってみたいと思います。ありがとうございました。

・親を介護をしています、施設入所させています。自分にも家族があり、自宅では難しいので、それをいつも申し訳ないと思います。きれいごとを言っても夜中の自宅での介護はもう限界でした。永井先生が在宅医療をはじめるのに「何もなくていいですよ」と言ってましたが、ちょっと疑問を感じました。また必ずしも最期の瞬間を看取れなくてもいいと思うと言われましたが、母はコロナ禍で入院中に面会もできず亡くなりました。この言葉には傷つきました。
・人生会議の再認識ができ、終末期ではない利用者さんとの関わりの中でも日々の会話の中で思いを聞けるようにしていきたいです。
・信友監督の映画を見て、話を聞いてみたかったので、とてもよかった。
・職業柄ACP研修に参加することは多くあります。高齢者を対象とすることが多い中、仕事上、AYA世代や医療的ケア児を対象にすることも多いので、若い方の苦悩する内容にもふれる研修もあればと思います。
・自分の両親に今日の講演を聞いてほしい。一緒に来たかったと感じた。永井Drの亡くなる瞬間は見なくていいがとてもいいなと思った。
・自分のこととして考えたいと思います。
・生まれたら必ず死ぬ。どう生きるか。生き方の選択が本人の意思を尊重してほしい。家族の希望より本人の希望が一番と思う。
・認知症の方が増えるこれから、地域が支える役割は大きいと思うので、これからどれぐらいのことが上げられるのかと思っています。
・これから毎日家族と向き合って行きたい。ありがとうございました。
・ありがとうございました。
・信友さんの講演は大変わかりやすく、明日は我が身と切実に感じました。TVで見てずっとお会いしたいと思っていました。本も読みました。またお話が聞ける機会に恵まれますように。
・病院にはまだACPが浸透していないと思います。医療者にも（特にDrに）分かってもらえるようにするにはどうしたら良いか悩みます…
・空席がありちょっと残念。多くの方に聞いていただきたい。長尾和宏先生、内田直樹先生、小澤竹俊先生、永森克志先生、山内勇人先生、花戸貴司先生、藤田愛さん、高山義浩先生
・とても貴重なお話ありがとうございました。ACPを硬く考えず日々コミュニケーションをとってやっていきます！
・独居、身寄りのない方の人生会議はどのようにすればよいですか。
・回復期病棟に勤務しています。患者さんが自宅退院を希望しているのに家族の意志が優先で施設入所することが多いのはなぜなのか。MSWの力量なのか、入院中にはCMの力が出せないのが疑問です。現状改善に向けてどうしたらよいのかを学ぶ機会がほしいです。住み慣れた家で死ねない現実。まったく自己決定ではない現実。患者さんが取り残されている。取り残すスタッフにはなりたくないです。
・今回の講演で近々話し合っていきたいと強く感じました。
・在宅医療の現場で活用していきたい
・信友先生と永井先生の講演を拝聴したく福岡市から参加しました。
・在宅医療、在宅介護を上手に利用するには

・ 具体的な利用できる在宅介護サービスの内容など
・ どうやって家族の者、みんなをこの会議の場に参加してもらうか。この方法は？
・ ありがとうございます。
・ 永井先生にお会いしたかったです
・ 後悔ないように家族でやっておきたい
・ 認知症独居の生活の支え方について
・ ラジオ深夜便NHKのラジオR1で聞いてその上参加出来て、本当によかった
・ 堅苦しい雰囲気にならないよう、自分からさりげなく言いだしてみたい
・ とても勉強になった
・ 家族で話し合ってみたいです
・ 基調講演の部で身近な北九州市医師会員がよろしければ依頼を希望
・ 死をどう迎えるか、周りの人と共有し、ともに考えることが一番いいと思いました。
・ 人生会議というネーミングが大きなテーマすぎるので何？って感じですが、人生の結果じゃなくプロセス・日常が大事ということがよくわかりました。
・ 改めて日々の関わりが重要だと思いました。決定することがACPだと思っていたなと間違えて理解していたと振り返ることが出来ました。
・ 専門職なのですが一般の方々が在宅医療を今回のご講演でどうイメージされるのだろう？とちょっと気になりました。ACPの先にどんなアクセスがあるかイメージができることも大切なのでは。
・ 本日は貴重な情報誠にありがとうございます御座いました。
・ 子が親（高齢者）の介護をする時に気をつけることや接し方、知っておくべきこと
・ 具体的でとても分かりやすい講演でした。
・ 私は急性期病院で長く勤めていますが、想像以上の学びと発見、感動がありました。本当に感謝致します。
・ 医療と介護と福祉が全く連携できていないし介護保険そのものの制度がおかしいし複合的な課題を持つ家庭でなんの制度にはまらない狭間で苦しんでいるケースもあります。地域包括支援センターで働く看護師社会福祉士ケアマネです。急性期で看護師として30年働きましたが体力面で福祉職に入りましたがやることは雑用で幅広い知識やイレギュラーな事ばかりなのにもっと働く側の待遇を良くして欲しいせめて看護師くらいは給料安い問題は山積人が足りない魅力を伝えられませんか。看護師に戻ろうと思わせないくらいの魅力が欲しい。サービスではないです。プロで専門家として認めて欲しい。社会的にも地位が低いと感じています。
・ 感想です。今回は、職種も色々でそれぞれの立場での考えがお聞きできて良かったです。アンケートでは、（専門職への認知は低かったのですが）その先として、どんな要素があれば広がっていくかの、ということも知りたいです。
・ 信友さんの講演ということで興味がありました。人生会議ということで重くとらえてましたが、お父様と会話したように肩の力を抜いて考えていけば良いかな？と思いました。とても有意義な時間でした。ありがとうございました。
・ これからも自分では気付かない内容の講座講演を企画してください。 北九州市ってホントに住みやすく素晴らしい!って思います

・スピリチュアルケア
・人生の終末期は病院でと言う考え方が当然になっている今、意識を変えないといけないと思う。個々に自分の死に場所を選択できる社会でないといけない。 「病院で生まれて病院で死ぬ」その考え方を変えないといけない。
・在宅でのお看取り、緩和、必要のない処置等等
・信友さんの映画上映会
<p>・ケアマネジャーのACPにおける役割は、利用者の「望む暮らし」を深くアセスメントし、その意思決定を多職種（医師、看護師など）と連携しながら支援し、具体的なケアプランに落とし込む「調整役」であります。</p> <p>ご本人が「どのような生活を送りたいか」「何を大切にしたいか」といった価値観や希望を、元気なうちから繰り返し聞き取ります。アセスメントの重要性となります。将来起こりうる状況について情報提供を行い、「人生会議（ACP）」の場を通じ、自らの意思で決定できるよう支援し、ご本人が意思表示できなくなった場合に備え、信頼できる代理意思決定者が本人の意向を伝えられるよう準備を促していきたいと、本日の講演を聞かせて頂き、改めて感じさせられました。</p>